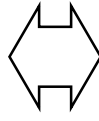


教育目標

いのちを大切に 共に輝き 生きていこう  
かしこく なかよく たくましく

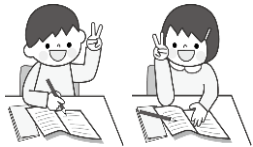
児童の実態

学びを楽しむ児童が多い。  
小規模校のため必要以上にコミュニケーションを図らなくても分かり合うことができる。



教師の願い

基礎的な学力を定着させたい。  
物事をじっくり考える習慣を付けたい。  
考えたことを正しく表現できる児童にしたい。



**自分の考えをもち、表現できる児童の育成**

めざす児童像

低学年分科会

自分の思いや願いをもって活動し、表現できる児童

中学年分科会

学んだことを生かし、自分の考えを深め、正しく表現できる児童

高学年分科会

既習事項や他者の考えを取り入れ、自分の考えを主体的に表現できる児童

研究主題に迫るために（研究の柱）

《教材・教具の工夫》  
学びたくなる教材を選定  
児童の実態に合わせた  
教具の準備

自分の考えをもたせるために

《学習環境の整備》  
効果的な掲示物の活用  
参考図書の充実  
ポートフォリオの活用

《視聴覚資料の充実》  
考えたくなる資料の選定  
タブレット端末・  
ICT機器の活用

考えを表現できるようにするために

《学習環境の整備》  
学習カードの工夫  
教室内掲示物の充実  
定型文・話型等の提示等

《考えを表現する場面の設定》  
疑問や気付きを生かした課題設定場面  
図や表などを活用した自力解決場面  
学習のまとめ・振り返り場面  
感想等の交流場面等

《多様な交流方法》  
意図的な意見交流（ペア・グループ）  
KJ法  
ジグソー学習  
プレゼンテーション方式等

校内での取り組み

「家庭学習の習慣化」「計算名人」「日記・作文指導」「音読指導」  
「地域人材との連携」「指導力向上のためのOJT」